

(2) 平成28年度森林環境税活用事業について (①概要)

平成27年8月31日、大分県森林づくり委員会から知事に「大分県森林環境税報告書(～第2期の検証と今後のあり方～)」が提出され、森林を巡る環境には依然として様々な課題が残されており、今後も引き続き森林環境の保全等に係る施策を実施する必要があるとして、適用期間を5年間延長し、新たなテーマのもと、豊富な森林資源を活用した特徴ある地域づくりと、健やかで心豊かに暮らせる大分県を築くために、次の施策に取り組むこととなった。(森林環境の保全のための県民税の特例に関する条例の一部を改正する条例を平成27年12月議会に提出し可決)

【第3期のテーマ】

自然豊かな大分の魅力を育む持続可能な森林づくり

I 県民生活と自然環境を守る森林づくり

- ① 荒廃森林の整備 ……自然災害の防止を図る抜き伐り・自然植生導入等
- ② 里山林の保全と利活用 ……竹林や広葉樹林の整備とバイオマス燃料等への活用促進
- ③ シカ被害対策の推進 ……林業被害の軽減を図るシカ生息数の適正化等
- ④ 森・川・海をつなぐ環境の整備 ……豊かな漁場や美しい河川をつくる森林整備等

II 森林資源の循環利用による地域活性化

- ① 健全な人工林資源の再生 ……皆伐跡地での低コスト再造林の促進、早生樹の導入等
- ② 森林資源の需要拡大 ……公共施設や商業施設への利用促進、製材品の輸出等
- ③ 林業の担い手確保・育成 ……新規就業希望者を対象とした長期研修プログラム等

III 森にふれ親しみ、森林づくりを支える取組

- ① 森林ボランティア活動の促進 ……森林づくりボランティア支援センターの機能強化等
- ② 森林環境教育・木育の促進 ……学習機会の充実、ごみゼロおおいた作戦の推進等
- ③ 森林づくりへの理解と参加を広げる活動 ……広報活動、イベント開催等

(2)平成28年度森林環境税活用事業について(1/2)

(単位:千円)

施策区分	平成28年度		
	事業区分	主な事業内容	予算額
I 県民生活と自然環境を守る森林づくり (テーマ) 自然豊かな大分の魅力を育む持続可能な森林づくり	1 荒廃森林の整備	1 荒廃人工林緊急整備事業	31,518
		①流木被害森林緊急整備事業	河川沿いの人工林の広葉樹林化、間伐放置林の強度間伐 県内の市町村が対象 25,000
		②間伐放置林緊急整備事業	間伐放置林の間伐を実施し健全な森林に誘導 3,235
		③再造林放棄地緊急整備事業	伐採後、再造林がなされず、災害等が懸念される箇所の広葉樹等植栽、下刈りを実施 3,283
		2 急傾斜地崩壊危険区域緊急伐採事業	急傾斜地崩壊危険区域内で、災害を招くおそれのある雑木等を伐採 9,000
	2 里山林の保全と利活用	3 荒廃竹林整備・利活用推進事業	荒廃竹林の広葉樹林化、景観の改善、優良竹林化 20,894
		4 県営都市公園里山利活用推進事業	大分スポーツ公園、ハーモニーパークの里山林等を整備し、環境学習に利用 1,799
		5 魅力ある景観づくり推進事業	観光地等の雑木伐採、標識整備等を行い、景観・利便性の向上を図る 20,653
	3 シカ被害対策の推進	6 森林シカ被害防止対策事業	シカ被害対策のための防護策設置や捕獲補償金に対し支援 65,107
		7 おおいた生物多様性保全事業	奥山地域の植生保護対策の実施、希少野生動物植物の保全 2,200
	4 森・川・海をつなぐ環境の整備	8 森と海をつなぐ環境保全推進事業	6,640
①森と海をつなぐ環境保全推進事業		荒廃森林による海岸に漂着した流木等の除去、環境保全活動の推進 実施主体:NPO等 3,000	
※②森と海をつなぐ環境保全推進事業		港湾内の流木を回収除去し、漁船や漁具への被害を防止 実施主体:大分県漁業協働組合 3,640	
10 森と海のつながりの研究事業		世界農業遺産地域の森と海のつながりを解明 3,092	
11 豊かな水環境創出事業		河川流域の水環境保全活動の推進、水環境フォーラム開催 9,973	
Iの柱 合計			170,876
II 森林資源の循環利用による地域活性化	1 健全な人工林資源の再生	1 再造林促進事業	林業適地での低コスト再造林経費を助成 70,200
	2 森林資源の需要拡大	2 県産竹材利用促進事業	アートコンペティション開催や創造支援により竹材利用を促進 4,096
		3 竹産業振興対策事業	竹産業の振興及び放置竹林の改善等の経費を支援 495
	※④公共建築物等地域材利用促進事業	公共建築物等の木造化、内装等の木質化を促進 実施主体:民間(杉の井ホテル)、工事費 7,000千円 3,500	
	5 CLT普及促進事業	CLTの設計・製造工程等の研修会や木造マイスター育成研修会を開催 1,663	
	※⑥おおいた型次世代木造住宅創造事業	需要拡大が見込まれる地域材のパネル工法の普及を促進、地域材パネル協議会の研修会の開催 1,464	
	※⑦障害福祉施設整備事業	県産材を使用した障がい福祉施設に対して支援 実施主体:NPO法人 青い鳥(豊後大野市) 総事業費:47,650千円(対象経費 40,125千円) 国20,062千円、森林環境税10,031千円 自己負担金10,032千円 10,031	
	3 林業の担い確保・育成	※⑧林業就業準備支援事業	林業分野への就業希望者を対象とした長期研修の実施 1,677
IIの柱 合計			93,126

(2)平成28年度森林環境税活用事業について(2/2)

(単位:千円)

施策区分	平成28年度			
	事業区分	主な事業内容	予算額	
(テーマ) 森にふれ親しみ、森林づくりを支える取組 自然豊かな大分の魅力を育む持続可能な森林づくり	1 森林ボランティア活動の推進	1 森林づくりボランティア活動促進事業	22,574	
		①森林づくりボランティア支援事業	森林ボランティアの情報収集、発信、森林ボランティア登録を行い、森林ボランティア活動を推進する。	3,567
		②森林づくりボランティア活動支援事業	ボランティア活動の支援のため、活動に応じ森林づくりに必要な物品を交付	400
		③森林づくりボランティア技術向上事業	森林ボランティアを養成するための各種鋼材を開催	1,352
		④企業参画の森づくり推進事業	企業による森林づくりを支援	990
		⑤森林づくり提案事業	県民からの提案型の森林整備に助成	16,265
	2 森林環境教育・木育の促進	2 森林環境教育推進事業		8,354
		①森の先生派遣事業	森林体験活動に森の先生を講師として派遣	4,369
		②名樹とのふれあい事業	特別保護樹木の治療と周辺整備	1,800
		③次代の森林づくり活動リーダー育成研修支援事業	森林づくり活動のリーダーとなる人材を育成	700
		④木育活動促進事業	県内の保育園や小学校を対象に木育推進員による木育び県産材おもちゃの推進を図る	1,701
		3 森林環境学習促進事業	森林環境学習指導者の派遣、「香ヶ地青少年の家」の「学びと健康の森」整備	6,429
		※④ 未来の環境を守る人づくり事業	子ども探検団の自然体験活動の実施、環境活動発表会の開催	4,339
		5 観光行政事務指導費	県産材で「おんせん県おおいた」PR	985
	3 森林づくりへの理解と参加を広げる活動	6 みんなで支える森林づくり推進事業	県民参加の森林づくり活動の推進、森林環境税の適正な運営のため「森林づくり委員会」等を開催	3,975
		7 おおいたの森林づくり広報推進事業	テレビ、新聞等による森林環境税の広報を実施	1,356
		※⑧ おおいたうつくし作戦推進事業	「おおいたうつくし作戦」の推進	4,748
	4 森林づくりにつながる新たな取組の支援	9 新たな育林技術研究開発事業	育林技術や木材の新たな利用など研究開発を支援	1,175
	Ⅲの柱 合計			53,935
	平成28年度予算額			317,937

※ は新規事業

○ は担当者から説明

(2) 平成28年度森林環境税活用事業について
②事業説明

- ・ おおいたうつくし作戦推進事業
（うつくし作戦推進課）
- ・ 未来の環境を守る人づくり事業
（うつくし作戦推進課）
- ・ 公共建築物等地域材利用促進事業
（林産振興室）
- ・ 林業就業準備支援事業
（林務管理課）

おおいたうつくし作戦推進事業について

生活環境部うつくし作戦推進課

「ごみゼロおおいた作戦」から「おおいたうつくし作戦」へ

「おおいたうつくし作戦」

平成15年度から展開した「ごみゼロおおいた作戦」の成果を生かして、さらにステップアップさせた地域活性化型の県民運動

作戦の展開

(1)まちづくり...地域の活性化

地域の特性を生かした環境保全活動の支援

(2)ひとづくり...人材の育成

子どもを中心としたあらゆる世代への環境教育の実施

(3)なかまづくり...活動の基盤づくり

うつくし作戦をけん引する新たな団体の設立や既存団体の構成員増加等の支援

キャンペーンの実施

- ・キャンドルナイト
- ・県民一斉うつくし大行動
- ・四季折々キャンペーン
- ・おおいたうつくし感謝祭(仮称)



平成28年度おおいたうつくし作戦について

「う」 うみ (海、河川、干潟など)
 「つ」 つち (土、大地、温泉など)
 「く」 くうき (空気、大気、風など)
 「し」 しんりん (森林、豊かな自然)

まちづくり (地域の活性化)

方向性	地域活性化に向けた仕組みづくり
取組内容	1 環境保全活動+α <ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会毎に、地域の特性を生かした環境保全活動を支援 <p>【活動事例】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>清掃+婚活</p> <p>独身男女と一緒に海岸清掃</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>バーベキューで親交(婚活)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">+</p> <div style="text-align: center;">  <p>花いっぱい運動+観光</p> <p>文化財周辺の花いっぱい運動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>観光客のおもてなし</p> </div> <p style="text-align: center;">+</p>
効果	<p>・+αの活動から一般県民に参加を呼びかけることですそ野が広がる (「点」から「面」への拡大)</p> <p>・地域の活性化につながるとともに、人材育成(『ひとづくり』)につながる</p>

ひとづくり (人材の育成)

方向性	うつくし作戦の推進に向けた、県民の環境意識の更なる醸成
取組内容	環境教育アドバイザーの積極的活用 <ol style="list-style-type: none"> 1 アドバイザーによる企画講座(シニア・一般) <ul style="list-style-type: none"> ・5回シリーズ3地域で環境講座を実施 2 企業への環境講座(一般) <ul style="list-style-type: none"> ・従業員対象の企業内研修にアドバイザーを派遣 3 おおいた子ども探検団の実施(子ども) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと密接な団体が企画する、公共施設等を活用した自然体験活動を支援 4 子ども環境活動発表会の開催(子ども) <ul style="list-style-type: none"> ・探検団等が実施した活動発表会を開催し、子どもから大人への啓発を図る
効果	<p>・あらゆる世代への環境教育により、環境に配慮した行動ができる人材が増加(「点」の増加)</p> <p>・仲間意識が芽生え、うつくし隊の結成など『なかもづくり』につながる</p>

なかもづくり (活動の基盤づくり)

方向性	活動団体や構成員を増やす仕組みづくり
取組内容	1 推進隊への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新規の推進隊が活動を広げるために必要な取組を支援 ・既存の推進隊が構成員の増加や世代交代を図るために必要な取組を支援 2 団体の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会を活用して、推進隊がうつくし隊等へ自らの活動に参加するよう促し、推進隊へのレベルアップを図る
効果	<p>・推進隊等の活動基盤が強化され、持続的に活動することができる(「点」の強化)</p> <p>・構成員の増に伴う団体の活発化による地域活性化(『まちづくり』につながる)</p>



「おおいたうつくし作戦」による地域活性化

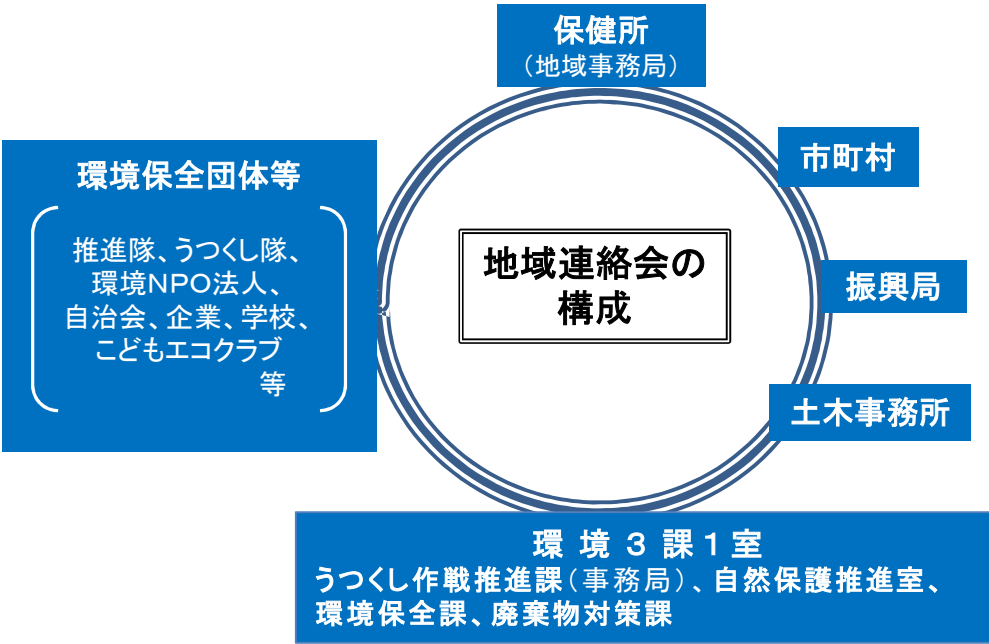
うつくし作戦の核となる推進隊の活動を支える地域連絡会

H27 県内9地域に連絡会を設置(保健所単位)
〔設置目的〕
○顔の見える関係づくり
○県・市町村・団体の情報提供
○団体が活動しやすい環境の整備

H28 地域連絡会の機能を強化
(取組の継続性を確保)

うつくし作戦推進課
・情報の共有、一元化(フェイスブック活用)
・新たな団体や個人の掘り起こし

保健所
・ワンストップ相談
・情報交流拠点の整備



おおいたうつくし感謝祭の開催

開催目的 おおいたうつくし推進隊等の活動のPRとしての場、県民実行型による多くの県民への環境意識の醸成

開催時期 11月末開催(12月の地球温暖化防止月間への機運醸成)

開催方法 実行委員会形式で構成員を始め、各々の関係団体にも出展・参加を呼びかけ開催

内容・イベント ・各出展団体活動発表 ・ゆるキャラ環境クイズ大会 ・環境記念講演会 ・環境人形劇 等

「県民実行型」によるおおいたうつくし作戦の推進

おおいたうつくし作戦推進事業に係る経費の内訳

単位:千円

項目	事業費	財源		備考
		森林環境税	一般財源・その他	
作戦の推進 (県民会議等)	1,142	228	914	
まちづくり (地域の活性化)	3,355	2,160	1,195	
ひとづくり (人材の育成) [A]	(18,637)	(4,339)	(14,298)	(未来の環境を守る 人づくり事業)
なかまづくり (活動の基盤づくり)	1,062	720	342	
おおいたうつくし 感謝祭(仮称)の開催	4,169	1,640	2,529	
おおいたうつくし キャンペーン	5,949		5,949	
合計 [B]	15,677	4,748	10,929	
2つの事業の合計 [A] + [B]	34,314	9,087	25,227	

未来の環境を守る人づくり推進事業について

生活環境部うつくし作戦推進課

平成28年度おおいたうつくし作戦について

「う」 うみ (海、河川、干潟など)
 「つ」 つち (土、大地、温泉など)
 「く」 くうき (空気、大気、風など)
 「し」 しんりん (森林、豊かな自然)

まちづくり (地域の活性化)

方向性	地域活性化に向けた仕組みづくり
取組内容	1 環境保全活動+α <ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会毎に、地域の特性を生かした環境保全活動を支援 <p>【活動事例】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>清掃+婚活</p> <p>独身男女と一緒に海岸清掃</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>バーベキューで親交(婚活)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">+</p> <div style="text-align: center;">  <p>花いっぱい運動+観光</p> <p>文化財周辺の花いっぱい運動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>観光客のおもてなし</p> </div> <p style="text-align: center;">+</p>
効果	<p>・+αの活動から一般県民に参加を呼びかけることですそ野が広がる (「点」から「面」への拡大)</p> <p>・地域の活性化につながるとともに、人材育成(『ひとづくり』)につながる</p>

ひとづくり (人材の育成)

方向性	うつくし作戦の推進に向けた、県民の環境意識の更なる醸成
取組内容	環境教育アドバイザーの積極的活用 <ol style="list-style-type: none"> 1 アドバイザーによる企画講座(シニア・一般) <ul style="list-style-type: none"> ・5回シリーズ3地域で環境講座を実施 2 企業への環境講座(一般) <ul style="list-style-type: none"> ・従業員対象の企業内研修にアドバイザーを派遣 3 おおいた子ども探検団の実施(子ども) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと密接な団体が企画する、公共施設等を活用した自然体験活動を支援 4 子ども環境活動発表会の開催(子ども) <ul style="list-style-type: none"> ・探検団等が実施した活動発表会を開催し、子どもから大人への啓発を図る
効果	<p>・あらゆる世代への環境教育により、環境に配慮した行動ができる人材が増加(「点」の増加)</p> <p>・仲間意識が芽生え、うつくし隊の結成など『なかもづくり』につながる</p>

なかもづくり (活動の基盤づくり)

方向性	活動団体や構成員を増やす仕組みづくり
取組内容	1 推進隊への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新規の推進隊が活動を広げるために必要な取組を支援 ・既存の推進隊が構成員の増加や世代交代を図るために必要な取組を支援 2 団体の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会を活用して、推進隊がうつくし隊等へ自らの活動に参加するよう促し、推進隊へのレベルアップを図る
効果	<p>・推進隊等の活動基盤が強化され、持続的に活動することができる(「点」の強化)</p> <p>・構成員の増に伴う団体の活発化による地域活性化(『まちづくり』につながる)</p>

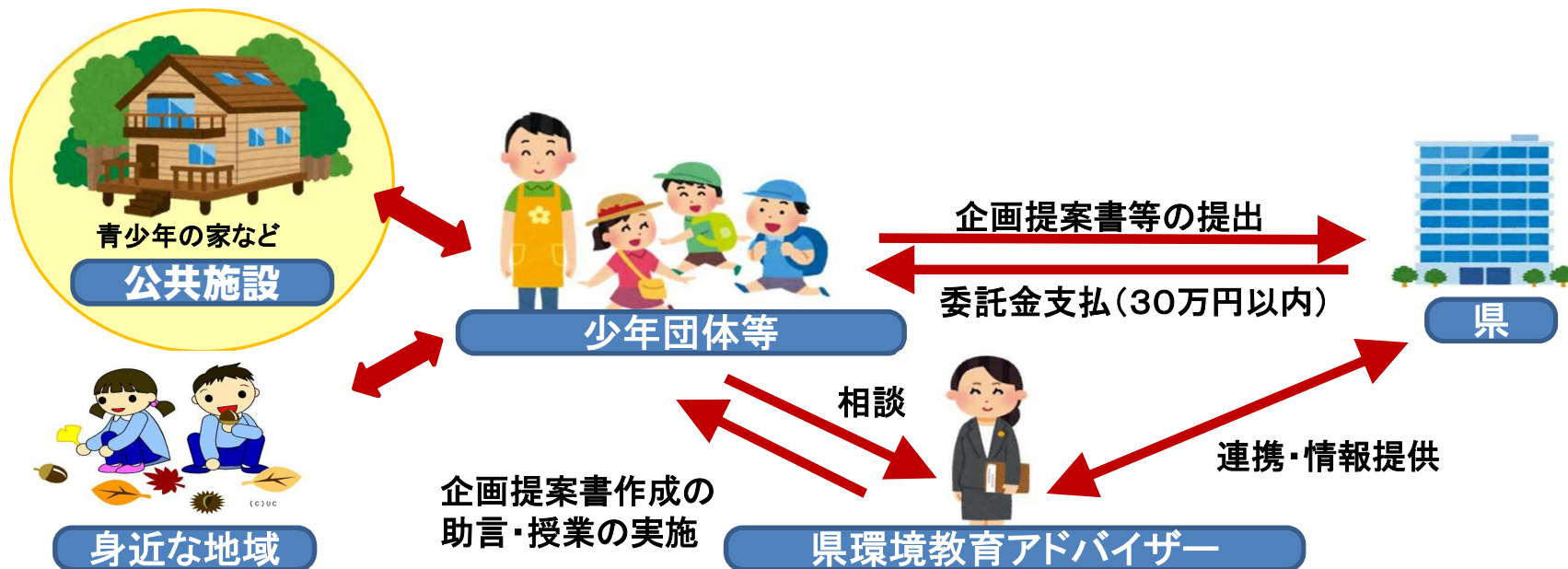
うつくし作戦の“好循環”による「点」→「面」への促進・拡大

おおいたこども探険団推進事業

子どもたちを対象に、自然体験活動など実体験を伴う年間を通じた環境学習を行う団体に委託(1団体30万円以内)

- ◆条件:
 - ・県環境教育アドバイザー等外部講師を最低1回は活用
 - ・県内の自然体験活動の実施可能な公共施設(※)を最低1回は活用

(※)県民の森(大分市)、大分農業文化公園(杵築市)、香々地青少年の家(豊後高田市)
九重青少年の家(九重町)、大分県マリンカルチャーセンター(佐伯市)



【委託契約の対象となる経費】

外部講師謝礼・旅費、野外活動時の飲料代(熱中症予防に係るもの)、材料代、保険料、バス借上代 等
※事業実施主体の構成員に係る人件費等は対象外

未来の環境を守る人づくり事業に係る経費の内訳

単位:千円

項目	事業費	財源		備考
		森林環境税	一般財源・その他	
作戦の推進 (県民会議等)	1,142	228	914	
まちづくり (地域の活性化)	3,355	2,160	1,195	
ひとづくり (人材の育成) [A]	(18,637)	(4,339)	(14,298)	(未来の環境を守る 人づくり事業)
なかまづくり (活動の基盤づくり)	1,062	720	342	
おおいたうつくし 感謝祭(仮称)の開催	4,169	1,640	2,529	
おおいたうつくし キャンペーン	5,949		5,949	
合計 [B]	15,677	4,748	10,929	
2つの事業の合計 [A] + [B]	34,314	9,087	25,227	

ごみゼロおおいた作戦推進事業

ごみゼロ探険団推進事業 — [27年度 : 14団体]

団体名	市町村	主な企画
大分市生活学校連絡協議会	大分市	桜の木の植樹
NPO法人アイラブグリーン大分	大分市	落ち葉を活用した環境関連学習
如水保育園	中津市	ネイチャーゲーム、きのこの学習
大平山友遊エコクラブ	別府市	海辺・川辺の生物観察会、壁新聞の製作
(一社)大分県産業廃棄物協会青年部会	大分市	街中クリーンアップ、リサイクル工場の見学
すがおこども園	豊後大野市	稲作体験、生ゴミリサイクル、海洋自然体験
NPO法人大分研究所	大分市	高校生による環境ポスターの製作及びまちなかでの展示
ハートフルウェーブ	大分市	コンポスト作りから行う花壇、畑作り
すがお児童クラブ	豊後大野市	清掃センター見学及び学習
八坂かっぱクラブ	杵築市	自然観察及び清掃活動、省エネクッキング
長浜校区児童育成クラブ	大分市	自然探索、エコ講座
谷っ子児童クラブ	由布市	川での生き物探し、海洋自然体験
ボーイスカウト大分第5団	大分市	海岸の生き物観察と清掃活動
(公財)人材育成ゆふいん財団	由布市	自然散策、生き物学習

ごみゼロおおいた作戦推進事業

ごみゼロ探険団推進事業 — 活動の様子

大平山友遊エコクラブ(別府市)

9月26日(土) 別府市境川



川に住む生き物や川
辺の植物を観察して
名前や特徴の説明を
聞き、自然の大切さを
学びました。

如水保育園(中津市)

9月28日(月) 中津市深耶馬溪地区



森林に生えているき
のこを観察して種類
や育ち方を教えてもら
い、くり拾いなど自然
体験をしました。

未来の環境を守る人づくり事業

子ども環境活動表彰制度・発表会

表彰制度

環境保全や自然体験活動に継続して取り組むなど、熱心な子どもたちを表彰する
※子どもとは、幼児から高校生まで

表彰条件

・基準: 3年以上の環境活動や意識啓発
(例) これまでのごみゼロ探検団が、翌年以降も継続して環境活動に取り組んでいる
【参考】ごみゼロ表彰一団体は7年以上

活動団体など

- ・こども育成クラブ
- ・こどもエコクラブ
- ・ボーイ・ガールスカウト
- ・緑の少年団
- ・幼稚園
- ・小中高学校
- ・NPO法人
- ・任意団体など

活動事例

- ・エコ講座と自然探索
- ・川での生き物探しと海洋自然体験
- ・コンポスト作りから行う花壇、畑作り
- ・高校生による環境ポスター制作とまちなかでの展示 など



自然体験

環境保全活動

推薦・応募



子ども環境活動表彰選考委員会

審査・選考

子ども環境活動表彰式・発表会

- ・表彰 (15団体) - 副賞
- ・活動事例発表 (5団体)
- ◆受賞した団体が活動事例を発表する

学校関係者や保護者が参加

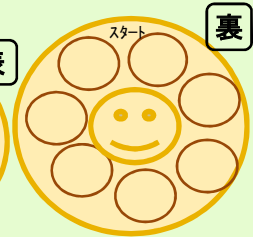
持続可能な取組の推進

エコカードの取組

【仕組み】
「水道を流しっぱなしにしない」など、エコな生活習慣を身につけたり、「生き物を大切に」など自然に親しむ活動ができれば、先生や指導者からスタンプを押してもらおう。
【対象】
おおいた子ども探検団や環境活動に取り組んだ子ども

表

エコ
カード
なまえ



スタート

裏

スタンプがたまったら、『エコシール』プレゼント!

エコカード…自然体験などを「きっかけ」に「持続する行動」につながるツール

事業効果

- ・環境活動に取り組んでいる子どもたちを表彰することで、「環境活動への意欲」が一層向上
- ・子どもたちの環境意識が高まることで、次代を担う若い世代の人材の育成
- ・子どもたちの表彰や発表会による、子どもから大人への意識啓発
- ・環境にへ配慮した行動が継続することで、大分県の豊かな自然環境を未来へ継承

公共建築物等地域材利用促進事業（森林環境税活用事業）

現状と課題

○豊富な森林資源

- ・戦後造成した人工林の本格的な伐期の到来
民有林蓄積量

人工林:88百万m³(九州2位)
うちスギ:69百万m³(九州1位)

○地域材利用の全県的な取組を展開

- ・木材利用促進法の施行(H22.10)
- ・県及び全市町村が公共建築物等への木材利用基本方針策定



○地域材利用の波及効果が限定的

- ・施設利用者が特定の地域住民に限られている。

○公共建築物以外の木造化が進んでいない

- ・都市部住民や子育て世代が多く訪れる施設は、物販等を伴うため、国の補助事業の対象とならない。

延床面積当たりの木造率

単位：％

	H23	H24	H25	H26
公共等	61.3	61.5	62.4	59.8
民間等	22.7	22.5	22.6	22.6

対策

公共建築物等地域材利用促進事業(森林環境税活用分)

<目的>

地域材の利用拡大に向け、集客力があり、多数の住民が訪れる施設の木造・木質化にかかる経費を支援することで、「**地域材利用の新分野開拓（物販を伴う施設）**」と多数の住民に向けた「**地域材利用の展示効果**」をねらう。

<実施場所>

- ・民間施設託児所(別府市 杉の井ホテル内建設予定)

<補助条件(一部抜粋)>

- ・使用する材の**8割以上に地域材**を使用。
- ・建築士の研修場として施工中・施工後の見学協力。
- ・完成後の地域材のPR及び木育活動の実施。

<補助率>

- ・定額(木工事費の1/2以内(新規分野))



※託児所イメージ

公共建築物等地域材利用促進事業（森林環境税活用事業）

期待される効果

新たな分野での、施設の木造化、内装木質化
（木と触れ合い、木の良さを実感できる空間の提供）



より多くの県民への
地域材利用に関する理解の醸成

- ・木造住宅建設の啓発
- ・幼少期から木材に触れる環境づくり(木育)の提案
- ・県内建築士に対する木造建築物の可能性の提示
（木造施設建設の提案力強化）



**施設や一般住宅における
地域材利用を促進**

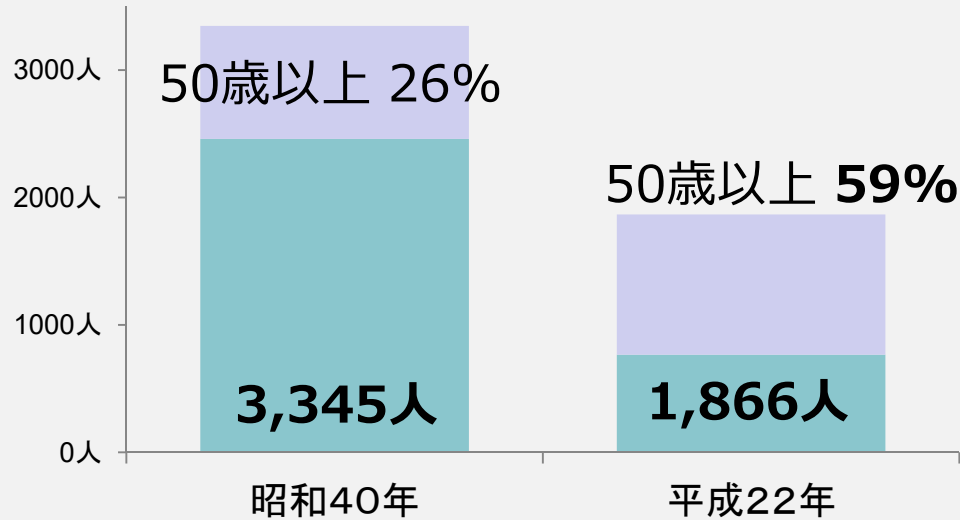


林業就業準備支援事業

(おおいた林業アカデミー)

林業の担い手の現状

林業従事者数

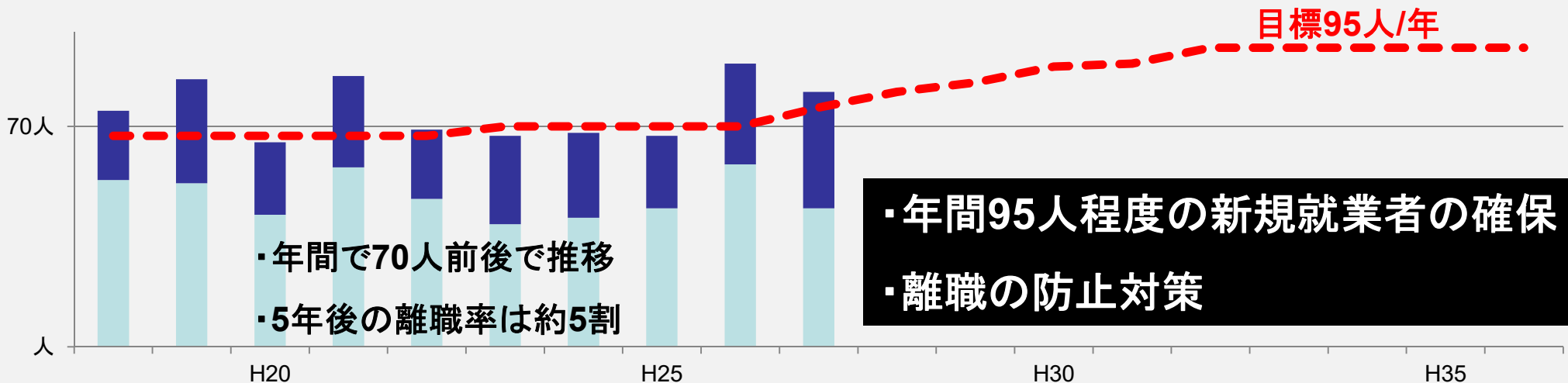


認定林業事業者の求人状況

	H26
求人数	89人
求職数	44人
充足率	49%

※ 林業事業者への聞き取り調査と大分労働局提供資料より
※ 公共職業紹介所を介さない求人も含む

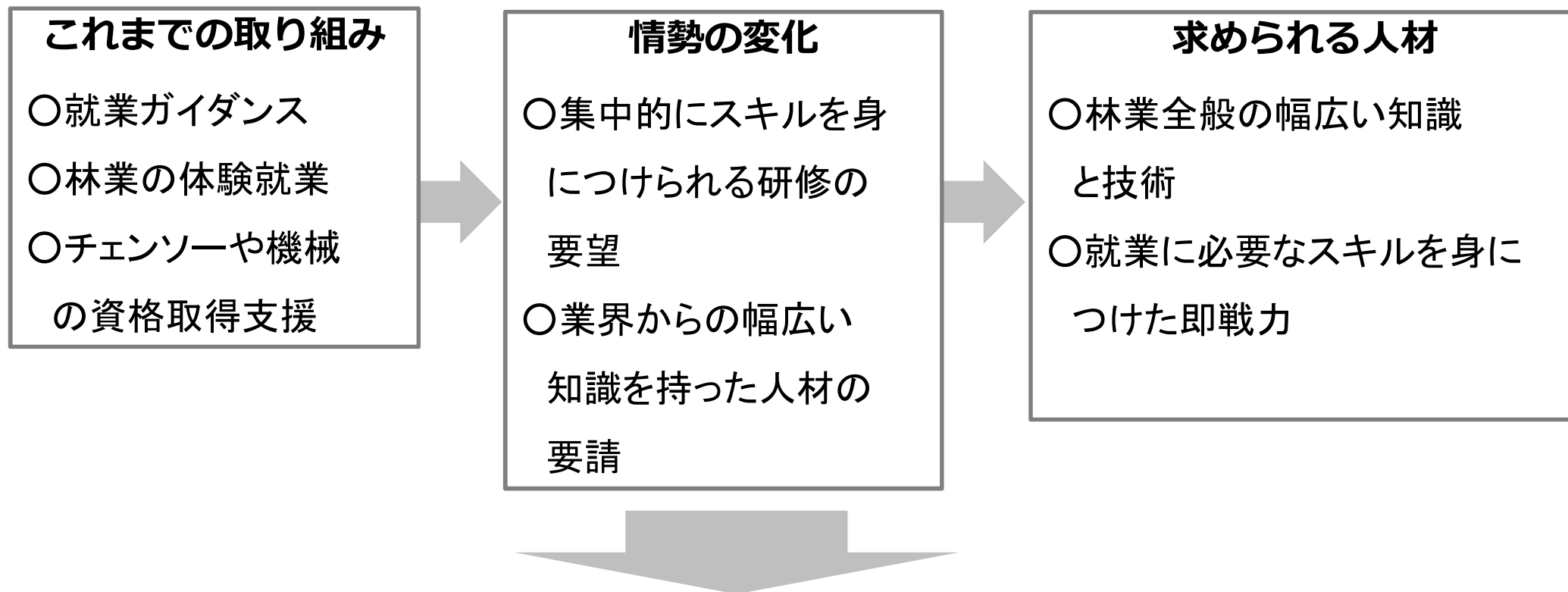
新規就業者数の実績と目標



- ・年間で70人前後で推移
- ・5年後の離職率は約5割

- ・年間95人程度の新規就業者の確保
- ・離職の防止対策

おおいた林業アカデミーの概要

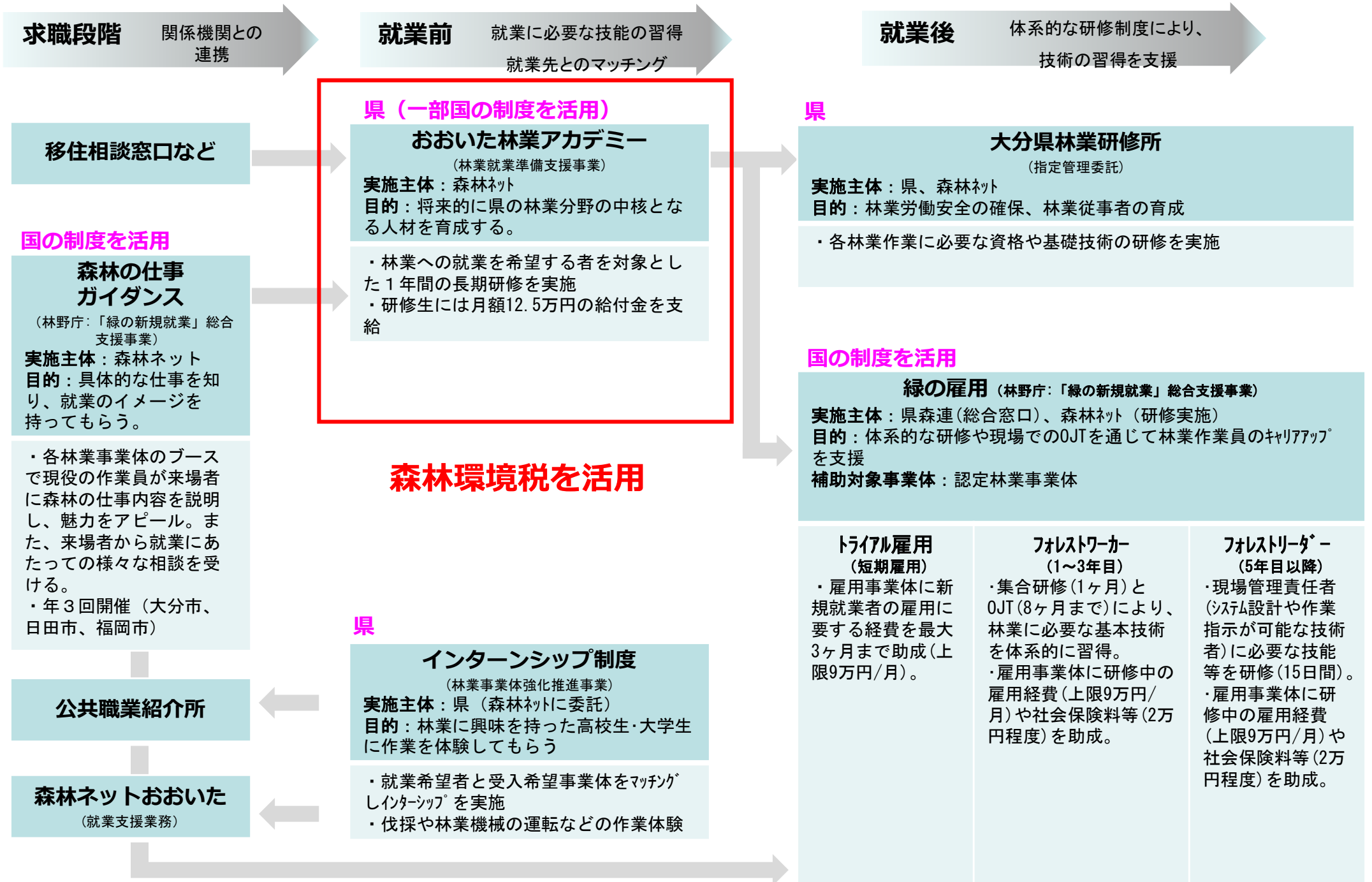


おおいた林業アカデミーの設置

設置目的

- 将来的には林業経営をも担いうる有望な人材を育成するため、必要な知識と技術を習得する1年間の研修を実施。
また、安心して研修に専念できるよう研修生に対し、緑の青年就業準備給付金を支給する。

林業の就業者確保対策



おおいた林業アカデミーの概要

1 アカデミーの概要

実施主体 : (公財)森林ネットおおいた

実施期間 : 1年間(4月21日開講~3月まで)

研修場所 : 大分県林業研修所(由布市)

応募状況 : 定員 10名、応募 13名、合格 10名

予算額 ; 23,902千円

内 訳

○研修事業 8,225千円 補助率 1/2

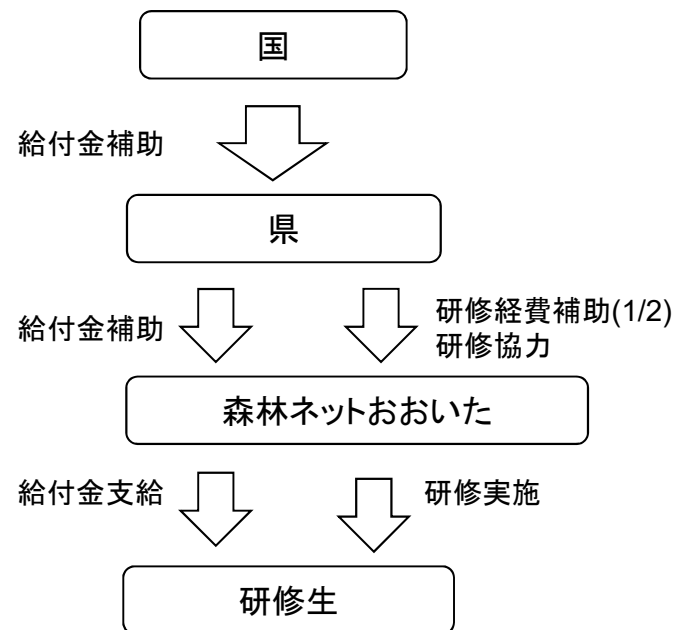
○給付金事業 14,000千円 補助率10/10

○県推進費 1,677千円 研修用具整備等

〔養成計画〕

	平成28年	平成29年	平成30年
応募者数	13人		
研修生数	10人	10人予定	10人予定

〔実施フロー〕



おおいた林業アカデミーの概要



林業への就職に向けた研修を開講!

おおいた林業アカデミー研修生募集!

森林組合や林業会社などの林業分野(事務職員を除く)への就職を目指している方や、林業を新たに始めようとする方を対象に、林業の知識や技術を習得する1年間の研修を(公財)森林ネットおおいたが実施します。

研修期間中は、月額12.5万円の就業準備給付金の支給を予定しています。



1. 期間 **平成28年4月21日(木)～平成29年3月22日(水)**

※原則として、年末年始を除く月～金曜日の、午前9時から午後4時半を予定(研修内容により変更有)

2. 内容
- ① 森林・林業・木材産業に関する基本的知識、林業労働安全衛生
 - ② 林業就業に必要な基本的技能講習(資格取得含(注1))
 - ③ 基礎的な森林施業の現地研修等

3. 募集人員 10名 (面接により受講者を決定します)

H28応募人数 **13名**

H28研修生 **10名**

〔H28研修生の年代〕

〔H28研修生の出身地〕

10代	1名
20代	6名
30代	1名
40代	2名

日田市	5名
由布市・竹田市・九重町・玖珠町	各1名
神奈川県	1名



平成28年4月21日開講式




おおいた林業アカデミーの概要

2 研修内容

- ①森林・林業・木材産業に関する基本的知識
- ②林業就業に必要な基本技能講習
- ③基礎的な森林施業の現地研修



研修拠点：林業研修所（由布市湯布院町）

座学研修	実地研修	インターン	資格取得
28日間	94日間	25日間	30日間
林業に関する基本的な知識や、林業労働安全対策、社会人としての一般常識を学ぶ	チェーンソーによる伐採等現場での基本的な知識、作業方法の習得	林業事業体への派遣研修	チェーンソー、刈り払い機、重機、玉掛等
		<ul style="list-style-type: none">・近隣の林業事業体・森林組合を予定・実際の作業の習得とともに、就業に向けたマッチング	
講義	選木の實習		チェーンソーの講習